

レクチャーノート

2024年10月30日（水）

救急・集中治療科

井上 茂亮



講義内容

多発外傷におけるCT読影

- FACT
- 実症例演習

外傷診療における3段階CT読影（例）

第1段階（FACT）

vitalに直結するヤバイ所見をスクリーニング

第2段階

それ以外の所見をスクリーニング

血腫・extravasation（造影CT）

Free air・頸椎・顔面骨折など

第3段階

念には念を。放射線診断医への読影依頼

講義内容

多発外傷におけるCT読影

- FACT
- 実症例演習

第1段階

FACT : Focused assessment with CT for trauma

Window

① 緊急開頭術が必要な有無

② 大動脈の弓部から峡部で
大動脈損傷の有無、縦隔血腫の有無

③ 肺底部で
広範な肺挫傷、血気胸、心のう血腫
の有無を確認

④ 横隔膜から骨盤腔まで一気にみて
モリソン窩、脾腎境界、膀胱直腸窩に腹
腔内出血の有無を確認

⑤ 骨盤骨折や後腹膜出血の有無を
確認しながら頭側へ移動

⑥ 実質臓器（肝/脾/膵/腎）損傷、
腸間膜内血腫の有無を確認しながら
尾側へ移動

肺野条件

戻す

骨条件

戻す

